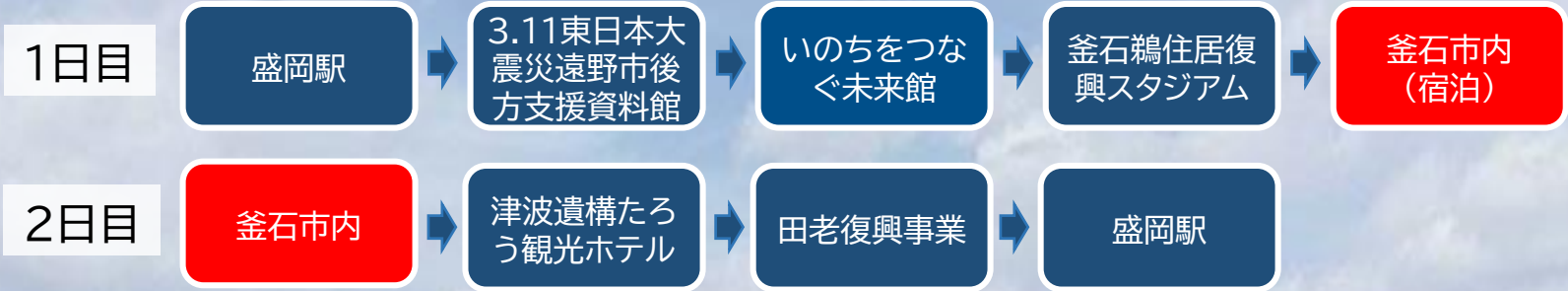


「津波常襲地域の知恵と津波との戦い」

東日本大震災で大津波に遭遇しながらも、過去の教訓をもとに、多くの命が救われ、復興に取り組む津波常襲地域の現状を学ぶ。

留意事項
・定員10～20名
・宿泊及びバスの移動は旅行代理店が手配

対象地域:岩手県遠野市、釜石市、宮古市
研修領域:避難行動、防潮堤整備、
後方支援、復興の町づくり



【研修内容】

- 大規模な津波被害に遭遇した三陸沿岸市町村を支援した遠野市の活動を知る。
- 大津波からの犠牲と命を守る避難行動を知る。
- 三陸沿岸を代表する復興施設とその意義と役割を知る。
- 過去の津波被害を教訓として学んだ被害の軽減策を知る。

【学びの特色】

- 東日本大震災以前の支援訓練を実際に展開し、三陸沿岸市町村の支援基地となった遠野市の実態を学ぶ。
- 津波被害で多くの犠牲を払った施設と、犠牲者ができなかった迅速な避難行動の実態を学ぶ。
- 津波の常襲地帯における津波の向い方と避難の実態を学び、新たな町づくりとして復興が進む田老地区の実際を学ぶ。
- 三陸沿岸を代表するスポーツ施設に込められた意義と役割を知る。



3.11東日本大震災遠野市後方支援資料館



いのちをつなぐ未来館



津波遺構たろう観光ホテル



田老防潮堤